



## 損益計算書

自 2025年 4月 1日

至 2026年 3月31日

JCOM株式会社

(単位:百万円)

売上高		371,561
売上原価		290,391
売上総利益		81,169
販売費及び一般管理費		46,644
営業利益		34,525
営業外収益		
受取利息	90	
受取配当金	36,375	
その他	211	36,677
営業外費用		
支払利息	3,972	
その他	470	4,442
経常利益		66,760
税引前当期純利益		66,760
法人税、住民税及び事業税	9,233	
法人税等調整額	489	9,723
当期純利益		57,037

# 個別注記表

自 2025年 4月 1日  
至 2026年 3月 31日

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
  - ① 子会社株式及び関連会社株式  
移動平均法による原価法によっております。
  - ② その他有価証券  
市場価格のない株式等以外のもの  
決算日の市場価格等による時価法によっております。  
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)  
市場価格のない株式等  
移動平均法による原価法によっております。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
移動平均法による原価法によっております。  
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)
- (3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法  
定額法によっております。
- (4) 無形固定資産の減価償却の方法  
定額法によっております。
- (5) リース資産の減価償却の方法  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る減価償却方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。
- (6) 長期前払費用の償却の方法  
定額法によっております。
- (7) 引当金の計上基準
  - ① 貸倒引当金  
債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
  - ② 賞与引当金  
従業員の賞与の支払いに備えるため、過去の支給実績を勘案し、当期に負担すべき支給見込額を計上しております。
- (8) 収益の認識基準  
以下の5ステップアプローチに基づき、顧客に移転する財やサービスとの交換により、その権利を得ると見込む金額を収益として認識しています。  
ステップ1:顧客との契約を識別する。  
ステップ2:契約における履行義務を識別する。  
ステップ3:取引価格を算定する。  
ステップ4:取引価格を契約における別個の履行義務へ配分する。  
ステップ5:履行義務を充足した時点で(又は充足するに依りて)収益を認識する。

当社の主要な事業における主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点は以下のとおりであります。

- ① 高速インターネット接続事業  
高速インターネット接続サービスの提供を主な履行義務として識別しています。履行義務が充足されるサービス提供時に収益計上しており、取引の対価は概ねサービス提供翌月に請求し、翌々月までに受領しております。
- ② 工事用資材供給事業  
ケーブルテレビ事業会社向けの工事用資材の販売を主な履行義務として識別しています。履行義務が充足される工事用資材の検収が完了した時点で収益計上しており、取引の対価は概ね検収が完了した月に請求し、翌月までに受領しております。
- ③ カスタマーサービス事業  
ケーブルテレビ事業会社向けのカスタマーサービスの提供を主な履行義務として認識しています。履行義務が充足されるサービス提供月に収益計上しており、取引の対価は概ねサービス提供月に請求し、翌月までに受領しております。
- ④ 番組供給事業  
ケーブルテレビ事業会社向けのテレビ番組やコンテンツの提供を主な履行義務として認識しています。履行義務が充足されるサービス提供月に収益計上しており、取引の対価は概ねサービス提供翌月に請求し、翌々月までに受領しております。
- ⑤ ケーブルソリューション事業  
ケーブルテレビ事業会社向けのケーブルテレビ接続電話サービスの提供を主な履行義務として認識しています。履行義務が充足されるサービス提供月に収益計上しており、取引の対価は概ねサービス提供翌月に請求し、翌々月までに受領しています。

⑥ 経営指導

グループ会社の事業企画・営業基本戦略の策定等経営にかかわる業務の提供を主な履行義務として認識しています。履行義務が充足されるサービス提供月に収益計上しており、取引の対価はサービス提供月に請求し、翌月までに受領しております。

(9) 重要なヘッジ会計の方法

① ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。なお、為替予約については振当処理を採用しております。

② ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段: 為替予約、金利スワップ

ヘッジ対象: 外貨建金銭債務、変動金利借入利息

③ ヘッジ方針

内規に基づき、外貨建金銭債務の為替変動リスク及び借入金金利変動リスクを回避する目的で行っております。

④ ヘッジ有効性評価の方法

為替予約取引については、ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計と、ヘッジ対象のキャッシュ・フロー変動の累計を比較して有効性の判定をしております。金利スワップ取引については、ヘッジ対象となる金利リスクが減殺されていることをテストし、有効性の評価を行っております。

(10) 記載金額について

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額

38,496 百万円

(2) 保証債務等

(単位:百万円)

被保証者	金額	被保証債務の内容
株ジェイコムウエスト	0	債務保証(注1)
株エニー	356	商品券購入取引(注2)
合計	357	

(注1) 株ジェイコムウエストが関西電力送配電㈱と締結している「共架契約書」、「同軸ケーブル共用契約書」等について連帯保証しております。

(注2) 株エニーの商品券購入取引について、債務保証を締結しております。

(3) 関係会社に対する金銭債権・債務

短期金銭債権

68,441 百万円

短期金銭債務

156,440 百万円

長期金銭債務

35 百万円

3. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

賞与引当金

1,250 百万円

固定資産償却超過額

707 百万円

未払事業税

372 百万円

未払費用

343 百万円

その他

858 百万円

繰延税金資産合計

3,532 百万円

繰延税金負債

繰延ヘッジ損益

1,077 百万円

投資有価証券

375 百万円

資産除去債務に対応する除却費用

9 百万円

繰延税金負債合計

1,462 百万円

繰延税金資産純額

2,069 百万円

## 4. 関連当事者との取引に関する注記

(単位:百万円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注2)	科目	期末残高 (注2)
親会社	KDDI(株)	被所有 直接 50.00%	役員の兼任 業務提供	電話サービスに係る卸役務 提供等(注1)	115,472	買掛金	11,780
						未払金	4,747
子会社	(株)ジェイコム ウエスト	所有 直接 98.62%	役員の兼任	電話サービス卸、及び放送 番組の販売等(注1)	61,351	売掛金	5,829
						未収入金	6,313
子会社	(株)ジェイコム 東京	所有 直接 97.15%	役員の兼任	電話サービス卸、及び放送 番組の販売等(注1)	56,440	売掛金	5,711
				資金の借入(注3)	8,161	未収入金	6,943
				利息の支払(注3)	119	短期借入金	18,282
子会社	(株)ジェイコム 湘南・神奈川	所有 直接 94.44%	役員の兼任	電話サービス卸、及び放送 番組の販売等(注1)	37,726	売掛金	3,670
				資金の借入(注3)	6,156	未収入金	4,756
				利息の支払(注3)	97	短期借入金	15,043
子会社	(株)ジェイコム 埼玉・東日本	所有 直接 95.48%	役員の兼任	資金の借入(注3)	2,106	短期借入金	26,889
				利息の支払(注3)	219		
子会社	(株)ジェイ・スポーツ	所有 直接 80.49%	役員の兼任	資金の借入(注3)	△ 3,955	短期借入金	7,874
				利息の支払(注3)	60		
子会社	(株)ジェイコム 千葉	所有 直接 94.71%	役員の兼任	資金の借入(注3)	459	短期借入金	16,149
				利息の支払(注3)	133		
子会社	ジュピタージョブ チャンネル(株)	所有 直接 50.00%	役員の兼任 役員の派遣	資金の借入(注3)	955	短期借入金	14,316
				利息の支払(注3)	58		

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 価格その他の取引条件は、市場の実勢価格等を参考にして、その都度協議の上で決定されております。

(注2) 取引金額については、消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

(注3) 資金の借入については、市場金利を勘案して借入利率を合理的に決定しております。なお、資金の借入の取引金額は  
当事業年度での純増減額を記載しております。

## 5. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	22,879円	07銭
1株当たり当期純利益	9,274円	80銭